

区民の学び支援としての 社会教育の意義や現状と 課題等

教育委員会事務局 中央図書館
館長 大橋 薫

プレゼンテーションの目的

- ①区民の「学び」に係る取組や意義について、理解を深める。
- ②施策の発展に向けた課題の整理を行う。
- ③生涯を通じた「学び」支援の方向性を共有する。

近年の動き

① コロナ禍での 学ぶ機会の喪失

学習手法や内容の検討が必要

② No. 1プラン2025 策定

重点戦略に
SDGs戦略ビジョンを追加

③ 中央図書館の改築

社会教育を推進する場としての中央図書館の改築

様々な取組①

中高生勉強会（学びiプレイス）



- 中学生・高校生を対象に区内5か所で勉強会を実施している。
- 夏休みなどを活用した、企業訪問などキャリア教育も実施している。
- 家庭や学校の悩みを話す中高生もあり、居場所としての機能も有している。

様々な取組②

板橋区コミュニティスクール (ICS)

▼CS委員会の熟議



両輪・協働
の関係で
できること
を模索



▲検温ボランティア

コロナ禍における
“地域とともにある学校”

- CS委員会…オンライン会議も活用し、コロナ禍における学校の課題等について具体的な解決策などを“熟議”
- 学校支援地域本部…1年分の読み聞かせを動画に撮って学校へ提供、学校の消毒や生徒の検温を保護者や地域のボランティアが実施等

5

様々な取組③

社会教育施設の運営 (中央図書館)



- 新しい価値の創造
 - ・新中央図書館・ポローニャ絵本館を核に「絵本のまち板橋」を発信
- 未来をはぐくむ取組
 - ・資料提供に限らず、地域協働など未来へ向けた多様な展開
- ひらかれた「学びの場」
 - ・すべての世代への身近な「知の拠点」としての役割

6

様々な取組④

身近なものを使った学習



- かごバッグづくりを通じて若者と社会教育指導員との会話のきっかけをつくる。
- 会話や作品作りを通じて、悩み相談や自己肯定感の醸成などにつなげている。
- 畑で野菜作りを行うことなど様々な体験も行っている。

7

様々な取組⑤

野菜作りを通じた学習



- 生涯学習センターの花壇を活用し、中高生・若者と野菜作りを行う。
- 作物ができる一連の体験学習を通じて食文化へ関心を高める
- 野菜の収穫により中高生や若者の多様な意欲を刺激する。

8

様々な取組⑥

若者向けSNS

SNS マスターへの道

- ✓そもそも、SNSって何？使い方がわからない！！
- ✓SNS上でトラブルに巻き込まれた！！
- ✓炎上しちゃったらどうしよう・・・
- ✓SNSをもっと楽しく使ってみたい！！
- ✓でも相談する相手がいない・・・

そんなお困りの方も、SNS マスターを目指そう！！

全3回連続講座

<p>第1回 9月11日(土) 19:00~21:00 対象:中学~大学生 定員 15名</p>	<p>第2回 9月18日(土) 19:00~21:00 対象:中学~大学生 定員 15名</p>	<p>第3回 9月26日(日) 講演会(聴講可) 14:30~ 対象:1~2回参加者 聴講:どなたでも 定員 15名 聴講 45名</p>
------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

- SNSに係るトラブルを未然に防ぐのと同時に、若者が安全にかつ楽しく使う方法を若者とともに考える講座を開催する。

- 講座の3回目には講師を招き、実際の経験談や被害者、加害者にならないためにどうしていくべきかを語っていただく。

生涯学習とは

生涯学習

教育者による教育

家庭教育

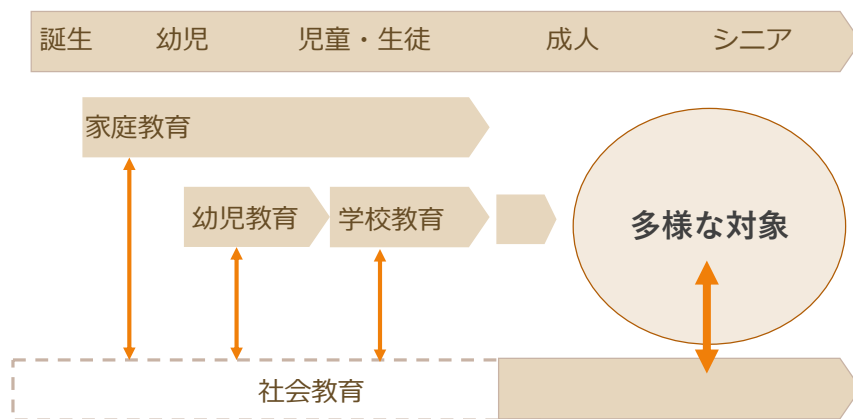
学校教育

社会教育

自主学习

生涯学習とは、各個人が行う組織的ではない学習（自主学习）のみならず、社会教育や学校教育において行われる多様な学習活動を含め、国民一人一人がその生涯にわたって自主的・自発的に行うことを基本とした学習活動（平成20年2月中央教育審議会答申）

社会教育とは



社会教育は、すべての世代を対象としながら、家庭教育や学校教育とは連携・協働する性質を持っている。

11

社会教育の連携・協働機能

家庭教育との連携・協働

- 家庭の育成機能との連携
- 孤立しがちな保護者に対する教育的な支援

学校教育との連携・協働

- 不登校児童・生徒に対する支援
- 学校教育課程以外での教育

幅広い主体との連携・協働

- 多様な層を対象とした大学、関係団体等との連携
- 庁内の連携

社会教育の意義

①人づくり

趣味や教養や
現代的・社会的課題の解決に向けた
個人の資質や能力の向上

②関係づくり

受講者が講師に回ったり、
学習活動に参加することによる
他者とのかかわり創出

③地域づくり

学習者が課題を認識し、
地域課題解決のための学習会や
ボランティア活動などへの参加等

これらの過程を通じて現代的・社会的課題の解決をめざす。

現状と課題①

人づくりの現状と課題

- 教育委員会が区長部局を含めた区民を対象にした講座や講習会を把握しきれておらず、区民が講座や講習会に参加しにくい。
- 趣味や教養などの講座や講習会に比べて、社会的課題や地域課題といったコンテンツが少ない。
- 参加者の年代が固定化され、幅広い年代の参加が得られていない。

現状と課題②

関係づくり・地域づくりの現状と課題

- 「教わるだけ」「学ぶだけ」で終わってしまい、教える側に回る機会がない。
- 他者を巻き込んで学習していくスキルを持った人材が不足している。
- 様々な人が活用できる社会的・心理的な「居場所」やオンラインなど発信のツールを活用できていない。

学び支援プラン2025①

■ 令和の教育課題の解決に向けた **3つの視点**

- ① DX (デジタルトランスフォーメーション)
- ② ESDの推進
- ③ 学びの循環の推進

学び支援プラン2025②

■ 社会を生き抜くために必要な資質能力の育成に向けた**4つの柱**

- ① 保幼小接続・小中一貫教育の推進
- ② 板橋区コミュニティスクール
- ③ 教職員の働き方改革
- ④ **誰一人取り残さない居場所づくり**

学び支援プラン2025③

～課題解決に向けて～

人づくり・関係づくり・地域づくりを

- 人づくり 学びの充実
豊かな人間形成をめざし、区が開催する講習や講座を集約するハブ機能を教育委員会が担う。
- 関係づくり 学びの場と機会の充実
社会教育施設の場の活用と地域人材の発掘や協働を推進する社会的、心理的「居場所」をつくる。
- 地域づくり 主体的な活動の促進
地域課題の解決をめざす自主的な教育活動を地域と共に促し導く。

学び支援プランでめざす人間像

自立

自ら考え
判断し
行動する

貢献

人のため
社会のために
なることを
進んでする

共生

人の話に
耳を傾け
力を合わせ
て問題を解
決する

創造

0から1を
作り出す

教育（家庭教育・学校教育・社会教育）と
自己学習の継続によって実現する。

No1プラン2025重点戦略との関係

SDGs

誰一人取り残さ
ない安心・安全
なまち

DX

新しい
技術や価値が
暮らしを豊かに
するまち

ブランド

板橋の魅力が
定住と交流を
促すまち

社会教育の充実は、重点戦略の推進
と親和性の高いもの。